

共通教養科目  
(外国語科目)

<b>科目名</b>	英語 I (英語 I A-1)		<b>科目コード</b>	CF101	
<b>英文名</b>	English I		<b>科目区分</b>	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
<b>担当教員</b>	安藤 郁子	<b>教員コード</b>	260	<b>単位数</b>	1単位
<b>開講期間</b>	前期	<b>曜日・時限</b>	木曜日/1時限	<b>授業形態</b>	演習
<b>学位授与方針との対応</b>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	20	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		10
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		40
<b>授業概要</b>	海外の文化や社会を知ることで、英語に興味を持ち、国際的な基礎知識を身に付けることを目的とする。海外に行った際の会話練習を中心に、状況に応じたマナーや問題解決方法を学び、クラス内で文化の違いについても話し合う。				
<b>授業の狙い・到達目標</b>	生徒達が実践的な英会話練習を通じて、英文を理解し、国際社会に対応出来る基礎力を身に付ける。海外に行くことを想定し、場面に応じた単語や表現を使い分けることが出来るようにする。				
<b>授業内容のレベル・関連科目</b>	話題によっては難しいので、必要に応じて関連記事やプリントなどで補足し理解を深める。				
<b>授業外学習(予習・復習)</b>	自宅で文法、単語の予習復習を、前向きに楽しんで取り組めることが望ましい。	<b>授業外学習に必要な時間</b>	各回2時間、合計30時間		
<b>使用教科書</b>	Tae Kudo, "My First Trip", センゲージ ラーニング株式会社				
<b>参考書・その他教材</b>	受講者と相談の上、適宜案内する。				
<b>課題に対するフィードバック</b>	講師との対話を重視し、レポートや課題についてのフィードバックや意見交換を行う。				
<b>成績評価方法</b>	授業への積極的な取り組み(質問、発言などを含む)(40%)、課題や小テストへの取り組み(40%)、出席(20%)で総合的に判断する。				
<b>成績評価基準</b>	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
<b>履修上の注意事項や学習上の助言</b>	日々の規則正しい生活習慣、学習習慣を身につけることは、大学生活のみならず、社会に出てからも不可欠です。課題の提出期限を守り、欠席、遅刻をする場合は、安全上の理由から、必ずメールをすること。				
<b>科目に関連した教員の実務経験</b>	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話、音読、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験面接対策、高校・大学受験対策の指導を行っている。				
<b>担当教員への連絡方法</b>	質問はメール(初回の授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合には、再度連絡方法を確認すること。				

授業スケジュール

英語 I (英語 I A-1)

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準の説明。Unit1 On the Plane シラバスを読んでおくこと Unit1 単語テストの準備
2 回	学習内容 予習 復習	Unit2 At the Currency Exchange テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit2 単語テストの準備
3 回	学習内容 予習 復習	Unit3 At the Hotel 1 テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit3単語テストの準備
4 回	学習内容 予習 復習	Unit4 At the Hotel 2 テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit4単語テストの準備
5 回	学習内容 予習 復習	Unit5 On the Train / Bus テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit5単語テストの準備
6 回	学習内容 予習 復習	Unit6 Sightseeing テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit6単語テストの準備
7 回	学習内容 予習 復習	Unit7 Shopping 1 テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit7単語テストの準備
8 回	学習内容 予習 復習	Unit8 Shopping 2 テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Unit9 At the Post Office テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Unit10 Sightseeing 2 テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit10単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Unit11 At the Restaurant テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit11単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Unit12 At the Hospital / Pharmacy テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Unit1-4 Review テキストを読み、復習をする Unit1-4 単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Unit5-8 Review テキストを読み、復習をする Unit5-8 単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Unit9-12 Reviw テキストを読み、復習をする 夏休みの課題

<b>科目名</b>	英語Ⅱ（英語ⅠA-2）		<b>科目コード</b>	CF102	
<b>英文名</b>	English II		<b>科目区分</b>	【共通教養科目】 外国語科目（選択必修）	
<b>担当教員</b>	安藤 郁子	<b>教員コード</b>	260	<b>単位数</b>	1単位
<b>開講期間</b>	後期	<b>曜日・時限</b>	木曜日/1時限	<b>授業形態</b>	演習
<b>学位授与方針との対応</b>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	20	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	10	
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	40	
<b>授業概要</b>	前期に引き続き、国際化する日本社会の様々な場面において、日本を訪れた外国人と英語で会話ができるように、会話練習を通じて、楽しくおもてなしの心や文化の違いについても学ぶ。				
<b>授業の狙い・到達目標</b>	生徒が自信を持って状況に応じた初歩的な英会話ができるようになることを目指し、将来の職業選択も視野に入れて英語の重要性を学ぶ。国際化する日本の将来についても考察する。				
<b>授業内容のレベル・関連科目</b>	日本だけでなく他の国々の文化や社会についても興味を持ち、世界の動きを把握する為に、適宜資料やプリントを配布する。				
<b>授業外学習（予習・復習）</b>	自宅で文法、単語の予習復習を前向きに楽しんで取り組めることが望ましい。	<b>授業外学習に必要な時間</b>	各回2時間、合計30時間		
<b>使用教科書</b>	Tae Kudo, "You're Welcome! Communication with Tourists Made Easy", センゲージ ラーニング株式会社				
<b>参考書・その他教材</b>	必要に応じて、適宜、学習内容を捕捉するプリントの配布する。				
<b>課題に対するフィードバック</b>	授業では講師との会話の対話を積極的に行い、一人一人に発話を促す。文化祭に向けたプロジェクトでは、クラス全員で評価をし合う。				
<b>成績評価方法</b>	授業への積極的な取り組み（質問、発言などを含む）(40%)、課題や小テストの取り組み(40%)、出席(20%)で総合的に判断する				
<b>成績評価基準</b>	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
<b>履修上の注意事項や学習上の助言</b>	前期に学んだことを活かし、意欲的に文化祭プロジェクトに取り組むことが重要です。課題提出は期限を守り、欠席、遅刻をする場合は、安全上の理由から、必ずメールをすること。				
<b>科目に関連した教員の実務経験</b>	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話、文法、音読、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験の面接対策、高校・大学受験の指導を行っている。				
<b>担当教員への連絡方法</b>	質問はメール（初回の授業で提示）でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合には、再度連絡方法を確認すること。				

授業スケジュール

英語Ⅱ（英語ⅠA-2）

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準の説明、Unit1 For here, or to go ? シラバスを読んでおくこと Unit1単語テストの準備
2 回	学習内容 予習 復習	Unit2 How many are in your party? テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit2単語テストの準備
3 回	学習内容 予習 復習	Unit3 I'll be right back. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit3 単語テストの準備
4 回	学習内容 予習 復習	Unit4 Would you like me to heat this up? テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit4単語テストの準備
5 回	学習内容 予習 復習	Unit5 Your total comes up to 3240 yen. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit5単語テストの準備
6 回	学習内容 予習 復習	Unit6 I'm truly sorry for the trouble. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit6単語テストの準備
7 回	学習内容 予習 復習	Unit7 Do you have a reservation? テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit7単語テストの準備
8 回	学習内容 予習 復習	Unit8 Wi-Fi is available in this area. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Unit9 I highly recommend Sakura Restaurant. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Unit10 Turn right at the first intersection. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit10単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Unit11 Take the subway to Hommachi. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit11単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Unit12 First, put the money in the machine. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Unit1-4 Review テキストを読み、復習をしてくる Unit1-4 単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Unit5-8 Review テキストを読み、復習をしてくる Unit5-8 単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Unit9-12 Review テキストを読み、復習をしてくる これまでの復習

科目名	英語Ⅲ (英語ⅡA-1)		科目コード	CF103	
英文名	English III (English II A)		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
担当教員	山崎 寿美子	教員コード	147	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	水曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		20
	3.論理的・批判的なものの見方を養う	30	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		20
授業概要	国際情勢、文化、社会問題などに関するニュースや英字新聞などを活用し、それぞれのテーマについて考え、平易な英語を使ったプレゼンテーションを行う。英語を使って自らの意見を表現し、コミュニケーションをとる基礎を学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	コミュニケーションのツールとして英語の発話を習慣化し、簡単な会話が自分から進んでできるようになることを目指す。また、社会における様々な課題について自分の意見を英語で表現し、コミュニケーションがとれるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識が基本である。この授業ではその知識を発話の反復によって「話して使う英語」に育てて行く。適宜基礎的な文法の復習を行う。				
授業外学習(予習・復習)	事前に次回の学習箇所の単語を調べておくこと。授業の復習や次回の学習の導入を目的とした宿題を出す。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間
使用教科書	Kazuya Oseki, Kevin M. McManus 2021 Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals. (地球市民として生きる:英語で学ぶSDGs実践入門)南雲堂。				
参考書・その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。				
課題に対するフィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。また、各自の提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行ない、学生が相互に学び合う。				
成績評価方法	授業への積極的な参加(質問、発言などを含む)(20%)、発表(40%)、小テスト(40%)で総合的に判断する				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	積極的に発話することが英会話の始まりであり習熟への近道である。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること				

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション—授業の目的、内容、進め方について説明する。 シラバスを読み、授業の内容についておおまかに理解しておくこと。 授業の趣旨を理解し、今後の取り組みについてイメージをもっておくこと。
2 回	学習内容 予習 復習	Chapter 1 Global Perspectives①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
3 回	学習内容 予習 復習	Chapter 1 Global Perspectives②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
4 回	学習内容 予習 復習	Chapter 1 Global Perspectives③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
5 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
6 回	学習内容 予習 復習	Chapter 2 Climate Change①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
7 回	学習内容 予習 復習	Chapter 2 Climate Change②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8 回	学習内容 予習 復習	Chapter 2 Climate Change③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
9 回	学習内容 予習 復習	これまでの振り返りと小テスト これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
10 回	学習内容 予習 復習	Chapter 3 Water①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
11 回	学習内容 予習 復習	Chapter 3 Water②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
12 回	学習内容 予習 復習	Chapter 3 Water③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
13 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
14 回	学習内容 予習 復習	英語でのプレゼンテーションを学ぶ 使用する動画を観て耳を鳴らしておくこと 使用した動画を繰り返し聞いて復習すること
15 回	学習内容 予習 復習	これまでの振り返りと小テスト 動画から学んだことをまとめておく 今学期学んだことを活かして、英語の発話を日常に取り入れること

科目名	英語Ⅳ（英語ⅡA-2）		科目コード	CF104	
英文名	English IV (English II A)		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
担当教員	山崎 寿美子	教員コード	147	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		20
	3.論理的・批判的なものの見方を養う	30	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		20
授業概要	国際情勢、文化、社会問題などに関するニュースや英字新聞などを活用し、それぞれのテーマについて考え、平易な英語を使ったプレゼンテーションを行う。英語を使って自らの意見を表現し、コミュニケーションをとる基礎を学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	コミュニケーションのツールとして英語の発話を習慣化し、簡単な会話が自分から進んでできるようになることを目指す。また、社会における様々な課題について自分の意見を英語で表現し、コミュニケーションがとれるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識が基本である。この授業ではその知識を発話の反復によって「話して使う英語」に育てて行く。適宜基礎的な文法の復習を行う。				
授業外学習(予習・復習)	事前に次回の学習箇所の単語を調べておくこと。授業の復習や次回の学習の導入を目的とした宿題を出す。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間
使用教科書	Kazuya Oseki, Kevin M. McManus 2021 Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals. (地球市民として生きる:英語で学ぶSDGs実践入門)南雲堂。				
参考書・その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。				
課題に対するフィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。また、各自の提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行ない、学生が相互に学び合う。				
成績評価方法	授業への積極的な参加(質問、発言などを含む)(20%)、発表(40%)、小テスト(40%)で総合的に判断する				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	積極的に発話することが英会話の始まりであり習熟への近道である。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること				

1 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 4 Clean Energy①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
2 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 4 Clean Energy②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
3 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 4 Clean Energy③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
4 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
5 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 5 Poverty①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
6 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 5 Poverty②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
7 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 5 Poverty③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	これまでの振り返りと小テスト これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
9 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 6 Hunger①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
10 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 6 Hunger②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
11 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 6 Hunger③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
12 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
13 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 7 Children①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
14 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	Chapter 7 Children②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
15 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	全体の振り返りと小テスト これまでの内容を振り返っておくこと 総合討論で出された課題について考えること

科目名	中国語 I		科目コード	CF105	
英文名	Chinese I		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
担当教員	市川 遥夏	教員コード	134	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日/3時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける	40	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探究する		10
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		20
授業概要	中国語の発音を中心に勉強する。中国語の挨拶、自己紹介など語句を勉強しながら、中国語だけでなく、中国の歴史や遺産、現代の姿、雄大な自然と工夫を凝らした造形美など多様な側面をもつ中国の社会について学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	中国語の基礎能力を身につけることができる。中国でよく使われる挨拶や日常的表現、基本的な言い回しを聞き取ることができる。自己紹介など、中国語での簡単な会話を行うことができる。簡単な文章を読むことができる。				
授業内容のレベル・関連科目	総合的な中国語の基礎学力を養う。中国語初級レベル。 関連科目：中国語 II				
授業外学習(予習・復習)	授業後に学習内容が身につくように復習し、再確認すること。毎回小テストを行うので、指定された部分の漢字・ピンイン・意味を覚えること。	授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	遠藤光暁監修, 衛榕群・汪暁京著 『入門 ビジュアル中国』 朝日出版社				
参考書・その他教材	早稲田大学商学部中国語教室 『中国語基本単語帳』 朝日出版社				
課題に対するフィードバック	講義中の小テストは、その場で解説する。 最終授業で全体を通じて見られた共通課題や改善点などについて講評する。				
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、毎回の小テスト(50%)で総合的に評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	テキストは必ず用意すること。 主体的に学習に取り組むこと。				
科目に関連した教員の實務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(ichikawa@aikoku-u.org)				

1 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	発音1 ピンイン、声調、母音 シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと。 基本的な発音規則と簡単なフレーズを覚えること。
2 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	発音2 子音 授業の前に毎回の新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
3 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	発音3 鼻音 授業の前に毎回の新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
4 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	発音4 軽声 授業の前に毎回の新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
5 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	発音の復習 母音、子音、鼻音の発音を暗記すること。 発音1～発音4の練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
6 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第1課 开学第一天 (キャンパス用語) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 キャンパス用語を復習し、単語を暗記すること。
7 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第2課 中华民族园 (常用形容詞) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用形容詞を復習し、単語を暗記すること。
8 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第3課 傣族新年 (期日と曜日) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 期日と曜日を復習し、単語を暗記すること。
9 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第4課 旅游 (家族紹介) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 家族紹介を復習し、単語を暗記すること。
10 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット① コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
11 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第5課 新家 (時間帯と時刻) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 時間帯と時刻を復習し、単語を暗記すること。
12 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第6課 兵馬俑 (常用動詞と目的語の組み合わせ) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用動詞と目的語の組み合わせを復習し、単語を暗記すること。
13 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第7課 西安 (時間の量) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 時間の量を復習し、単語を暗記すること。
14 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	総合復習 授業の前に第1課～第7課の単語と文法を暗記すること。 総合復習の問題をしっかりと復習、暗記すること。
15 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	課題発表、これまでの内容を振り返る 第1課～第7課の練習問題をしっかりと覚えること。 15回の授業を振り返り、総合復習の問題をしっかりと復習すること。

科目名	中国語Ⅱ		科目コード	CF106	
英文名	Chinese I		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
担当教員	市川 遥夏	教員コード	134	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日/3時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける	40	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探究する		20
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		10
授業概要	中国語の語句や基礎文法を勉強しながら、中国語だけでなく、中国の歴史や遺産、現代の姿、雄大な自然と工夫を凝らした造形美など多様な側面をもつ中国の社会について学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	中国語の基礎能力を身につけることができる。中国語のよく使われる挨拶や日常的表現、基本的な言い回しを聞き取ることができる。自己紹介など、中国語での簡単な会話を行うことができる。簡単な文章を読むことができる。				
授業内容のレベル・関連科目	総合的な中国語の基礎語学力を養う。中国語初級レベル。 中国語Ⅰを受講した学生のみ選択できる科目である。				
授業外学習(予習・復習)	授業後に学習内容が身につくように復習し、再確認すること。毎回小テストを行うので、指定された部分の漢字・ピンイン・意味を覚えること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間
使用教科書	遠藤光暁監修, 衛榕群・汪暁京著 『入門 ビジュアル中国』 朝日出版社				
参考書・その他教材	早稲田大学商学部中国語教室 『中国語基本単語帳』 朝日出版社				
課題に対するフィードバック	講義中の小テストは、その場で解説する。 最終授業で全体を通じて見られた共通課題や改善点などについて講評する。				
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、毎回の小テスト(50%)で総合的に評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	中国語Ⅰを受講した学生のみ選択できる科目である。 テキストは必ず用意すること。主体的に学習に取り組むこと。				
科目に関連した教員の實務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(ichikawa@aikoku-u.org)				

1 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	中国語Ⅰ内容の総復習 発音、第1課～第7課の単語と文法を覚えること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
2 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第8課 上海世界博覧会（中国と日本の都市名） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 中国と日本の都市名を復習し、単語を暗記すること。
3 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット② コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
4 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第9課 国名（常用動詞と結果補語の組み合わせ） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用動詞と結果補語の組み合わせを復習し、単語を暗記すること。
5 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第10課 蘇州園林（中国の世界遺産） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 中国の世界遺産を復習し、単語を暗記すること。
6 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第11課 天壇（北京の観光スポット） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 北京の観光スポットを復習し、単語を暗記すること。
7 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第12課 少林寺（趣味のいろいろ） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 趣味のいろいろを復習し、単語を暗記すること。
8 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット③ コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
9 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第13課 清明节（中国の祝日） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 中国の祝日を復習し、単語を暗記すること。
10 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第14課 在茶館喝茶（飲み物のいろいろ） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 飲み物のいろいろを復習し、単語を暗記すること。
11 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第15課 京劇（常用疑問詞） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用疑問詞を復習し、単語を暗記すること。
12 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第16課 艺术区（常用可能補語） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用可能補語を復習し、単語を暗記すること。
13 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット④ コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
14 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	総合復習 授業の前に第8課～第16課の単語と文法を暗記すること。 総合復習の問題をしっかりと復習、暗記すること。
15 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	課題発表、これまでの内容を振り返る。 第8課～第16課の練習問題をしっかりと覚えること。 15回の授業を振り返り、総合復習の問題をしっかりと復習すること。

科目名	中国語Ⅲ		科目コード	CF107	
英文名	Chinese III		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
担当教員	太田和 良幸	教員コード	154	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日/3時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける	50	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	10	5.学習の過程で発見した課題を探求する		10
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		30
授業概要	本授業は、中国語の基礎文法・語彙を習得した学生を対象に、実際のコミュニケーション場面で使える会話力を育成する演習科目である。買い物、旅行、大学生活など、日常生活を中心とした場面を取り上げ、ペアワーク・ロールプレイなどの活動を通して実践的な表現力を身につける。				
授業の狙い・到達目標	本授業は、実際の場面で使える中国語の会話力を高めるとともに状況に応じて語彙・表現を使い分ける力を育てることをねらいとしている。日常的な場面での基本的な会話ができるのみならず、相手の発話を十分聞き取り、適切に応答できるようになることが目標である。				
授業内容のレベル・関連科目	中国語Ⅰ、中国語Ⅱの学習の基礎の上に応用的な実践会話力を身に着けることを目指す中国語学習の初中級レベル				
授業外学習(予習・復習)	毎回、授業計画や教員からの指示をよく確認して予習に取り組むことが必要である。また、毎回授業内容について振り返り(復習)をすることが必要である。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間
使用教科書	会話演習用プリントを毎回配布する。 中国語学習アプリ(HelloChinese, Duolingo など)を使う。				
参考書・その他教材	授業内で適宜案内する。				
課題に対するフィードバック	提出された復習のノートは、採点して返却する。 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。				
成績評価方法	定期試験(40%)、復習ノート(30%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	授業は、学生の主体的学習を重視し、協働で学習を深める。 演習中心のため、積極的に話す姿勢が重要である。間違いを恐れず、まず声に出すことを重視する。				
科目に関連した教員の実務経験	在中華人民共和国日本国大使館での外交官としての勤務				
担当教員への連絡方法	質問はE-Mailでも受け付ける。(mail to: ohtawa@aikoku-u.org) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること				

1 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	【イントロダクション】授業内容、授業の進め方などについて学ぶ。中国語で自己紹介する。 シラバスを熟読して、本授業の概要、授業方法などを理解しておくこと 授業の概要、授業方法などについて振り返りを行うこと
2 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	大学生活(授業・サークル活動)での会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
3 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	友人との日常会話(誘う・断る)を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
4 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	買い物の会話(値段・比較)を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
5 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	レストランでの会話(注文・質問)を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
6 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	道案内の会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
7 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	旅行の会話(ホテル・交通機関)を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
8 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	趣味・休日の過ごし方での会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
9 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	SNS・チャット風の会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
10 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	感情表現(喜怒哀楽)の会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
11 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	トラブル対応(落とし物・体調不良)での会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
12 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	電話の会話(予約・問い合わせ)を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
13 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	短い会話劇をグループで作成する。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
14 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	グループで会話劇を発表する。 グループで会話文を完成させ、用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
15 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	フィードバックとこれまでの授業の振り返りをする。弱点を整理する。 会話劇を通じて理解できた発音・声調の改善点を自主練習する。 15回の学習の総まとめをする。

科目名	中国語IV		科目コード	CF108	
英文名	Chinese IV		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
担当教員	太田和 良幸	教員コード	154	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	月曜日/3時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける	50	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	10	5.学習の過程で発見した課題を探究する		10
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		30
授業概要	本授業は、中国語の基礎文法・語彙を習得した学生を対象に、実際のコミュニケーション場面で使える会話力を育成する演習科目である。日常生活から社会的場面までの具体的な場面を取り上げ、ペアワーク・ロールプレイなどの活動を通して実践的な表現力を身につける。				
授業の狙い・到達目標	本授業は、実際の場面で使える中国語の会話力を高めるとともに状況に応じて語彙・表現を使い分ける力を育てることをねらいとしている。日常的・社会的な場面での基本的な会話ができるのみならず、相手の発話を十分聞き取り、適切に応答できるようになることが目標である。				
授業内容のレベル・関連科目	中国語Ⅰ、中国語Ⅱの学習の基礎の上に応用的な実践会話力を身に着けることを目指す中国語学習の初中級レベルであり、中国語Ⅲと連携している。				
授業外学習(予習・復習)	毎回、授業計画や教員からの指示をよく確認して予習に取り組むことが必要である。また、毎回授業内容について振り返り(復習)をすることが必要である。	授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	会話演習用プリントを毎回配布する。 中国語学習アプリ(HelloChinese, Duolingo など)を使う。				
参考書・その他教材	授業内で適宜案内する。				
課題に対するフィードバック	提出された復習のノートは、採点して返却する。 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。				
成績評価方法	定期試験(40%)、復習ノート(30%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	授業は、学生の主体的学習を重視し、協働で学習を深める。 演習中心のため、積極的に話す姿勢が重要である。間違いを恐れず、まず声に出すことを重視する。				
科目に関連した教員の実務経験	在中華人民共和国日本国大使館での外交官としての勤務				
担当教員への連絡方法	質問はE-Mailでも受け付ける。(mail to: ohtawa@aikoku-u.org) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること				

1 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	【イントロダクション】中国語で自己紹介する。自己の弱点を踏まえた発音・声調練習をする。 シラバスを熟読して、本授業の概要、授業方法などを理解しておくこと 授業の概要、授業方法などについて振り返りを行うこと
2 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	アルバイトの場面での会話(依頼・報告)を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
3 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	相談の場面での会話(悩み・アドバイス)を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
4 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	日本の文化・習慣紹介の会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
5 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	中国の文化・習慣紹介の会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
6 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	意見交換の会話(賛成・反対)を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
7 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	未来の計画を話す会話(進路・夢)を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
8 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ニュース・時事の簡単な話題を使った会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
9 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	店舗・サービスのクレーム対応の会話を学ぶ。 授業予定の内容にふさわしい会話文を作成・用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
10 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	「会話劇」の台本作成 会話劇の内容にふさわしい台本を用意する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
11 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	会話劇の練習(発音・表現の調整) 予定会話劇の内容をよく精査する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
12 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	会話劇の通し練習。 前回の授業で分かった会話劇の改善点を練習する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
13 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	会話劇の発表 会話劇の発表に向けて内容を精査し完成させる。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
14 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	全体フィードバック。個人の改善点を整理する。 会話劇を通じて理解できた自己の弱点の克服に努力する。 授業内容について振り返り、これをノートにまとめ提出すること
15 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	年間の振り返りと今後の学習計画。弱点の整理 自己の弱点を整理するとともに今後の学習計画を考える。 15回の学習の総まとめをする。

<b>科目名</b>	英語 I B-1		<b>科目コード</b>	CF209	
<b>英文名</b>	English I B		<b>科目区分</b>	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)	
<b>担当教員</b>	安藤 郁子	<b>教員コード</b>	260	<b>単位数</b>	1単位
<b>開講期間</b>	前期	<b>曜日・時限</b>	水曜日/1時限	<b>授業形態</b>	演習
<b>学位授与方針との対応</b>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	20	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		10
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		40
<b>授業概要</b>	海外の文化や社会を知ること、英語に興味を持ち、国際的な基礎知識を身に付けることを目的とする。海外に行った際の会話練習を中心に、状況に応じたマナーや問題解決方法を学び、クラス内で文化の違いについても話し合う。				
<b>授業の狙い・到達目標</b>	生徒達が実践的な英会話練習を通じて、英文を理解し、国際社会に対応できる基礎力を身に付ける。海外に行くことを想定し、場面に応じた単語や表現を使い分けることが出来るようにする。				
<b>授業内容のレベル・関連科目</b>	話題によっては難しいので、必要に応じた関連記事やプリントで補足し理解を深める。				
<b>授業外学習(予習・復習)</b>	自宅で、文法、単語の予習復習を前向きに楽しんで取り組めることが望ましい。	<b>授業外学習に必要な時間</b>	各回2時間、合計30時間		
<b>使用教科書</b>	Tae Kudo, "My First Trip" センゲージ ラーニング株式会社				
<b>参考書・その他教材</b>	受講者と相談の上、適宜案内する。				
<b>課題に対するフィードバック</b>	講師との対話を重視し、レポートや課題についてのフィードバックや意見交換を行う。				
<b>成績評価方法</b>	授業への積極的な取り組み(質問、発言などを含む)(40%)、課題や小テストへの取り組み(40%)、出席(20%)で総合的に判断する。				
<b>成績評価基準</b>	学習の到達目標にどれくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。				
<b>履修上の注意事項や学習上の助言</b>	日々の規則正しい生活習慣、学習習慣を身に付けることは、大学生活のみならず、社会に出てからも不可欠です。課題の提出期限を守り、欠席、遅刻をする場合は、安全上の理由から、必ずメールをすること。				
<b>科目に関連した教員の実務経験</b>	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話や文法、音読の指導、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験の面接対策指導を行っている。				
<b>担当教員への連絡方法</b>	質問はメール(初回授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合は、再度連絡方法を確認すること。				

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準を説明。Unit1 On the plane シラバスを読んでおくこと。 Unit1単語テストの準備
2 回	学習内容 予習 復習	Unit2 At the Currency Exchange テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit2単語テストの準備
3 回	学習内容 予習 復習	Unit3 At the Hotel 1 テキストを読み知らない単語、熟語を調べてくる Unit3単語テストの準備
4 回	学習内容 予習 復習	Unit4 At the Hotel 2 テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit4単語テストの準備
5 回	学習内容 予習 復習	Unit5 On the Train / Bus テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit5単語テストの準備
6 回	学習内容 予習 復習	Unit6 Sightseeig テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit6 単語テストの準備
7 回	学習内容 予習 復習	Unit7 Shopping 1 テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit7単語テストの準備
8 回	学習内容 予習 復習	Unit8 Shopping 2 テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Unit9 At the Post Office テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Unit10 Sightseeing 2 テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit10単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Unit11 At the Restaurant テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit11単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Unit12 At the Hospital / Pharmacy テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Unit1-4 Review テキストを読み、復習をする Unit1-4 単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Unit5-8 Review テキストを読み、復習をする Unit5-8 単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Unit9-12 Review テキストを読み、復習をする 夏休みの課題

科目名	英語 I B-2		科目コード	CF210	
英文名	English I B		科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)	
担当教員	安藤 郁子	教員コード	260	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日/1時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける	20	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	20	5.学習の過程で発見した課題を探究する		10
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		40
授業概要	世界の食文化を知り、英語を通じて食物や栄養、健康管理についても学ぶ。多国籍化する現代の食をテーマに、異文化と英語への興味を持たせることを目標とする。				
授業の狙い・到達目標	生徒が基本的な英語を学びつつ、伝統的な食から現代の食に至るまでの歴史を知り、健康を支える食の重要性やこれからの食生活について学び、考えることを目指す。				
授業内容のレベル・関連科目	高校で学んだ文法の再確認をしながら、健康的な食生活や食が支える日本の未来についても考え、話し合えるように促していく。				
授業外学習(予習・復習)	自宅で、文法、単語の復習を前向きに楽しんで取り組めることが望ましい。			授業外学習に必要な時間	各回2時間、合計30時間
使用教科書	須永紫乃生、鈴木理枝、関根紳太郎、宮下リンダ共著 "Food for Thought, Eating for Health and Happiness" 現代の食を考える、南雲堂				
参考書・その他教材	必要に応じて、簡単な関連記事やプリントを配布する。				
課題に対するフィードバック	単語の小テストを行い、毎回学習した内容についての意見や考えを述べてもらう。				
成績評価方法	授業への積極的な取り組み・貢献度(50%)、課題・発表内容(40%)、小テスト(10%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどれくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	単語力の上達に不可欠な小テストには、真剣に取り組む、課題は提出期限を守る。遅刻、欠席する場合は、安全上の理由で、必ずメールで連絡をする。				
科目に関連した教員の実務経験	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話や文法、音読の指導、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験の面接対策指導を行っている。				
担当教員への連絡方法	質問はメール(初回授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合は、再度連絡方法を確認すること。				

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準を説明。Unit1 Counting Calories シラバスを読んでおくこと。 Unit1単語テストの準備
2 回	学習内容 予習 復習	Unit2 A New Sports Tradition テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit2単語テストの準備
3 回	学習内容 予習 復習	Unit3 As American as Applepie テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit3単語テストの準備
4 回	学習内容 予習 復習	Unit4 Use as Directed テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit4単語テストの準備
5 回	学習内容 予習 復習	Unit5 The End of Home Cooking テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit5単語テストの準備
6 回	学習内容 予習 復習	Unit6 Just Follow the Recipe テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit6単語テストの準備
7 回	学習内容 予習 復習	Unit7 Supplemental Health テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit7単語テストの準備
8 回	学習内容 予習 復習	Unit8 Time for Tea テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Unit9 Fresh from the Garden テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Unit10 Local Delicacies テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit11単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Unit11 Trick or Treat テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit11 単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Unit12 Giving Thanks テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Unit13 Tuekey and All the Trimmings テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit13 単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Unit14 From Your Valentine テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit14単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Unit15 The Meaning of Easter テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる 次年度に向けての課題点、学習方法の再確認、準備。教員に相談も可。

科目名	英語ⅡB-1		科目コード	CF211	
英文名	EnglishⅡB		科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)	
担当教員	山崎 寿美子	教員コード	147	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	金曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	30	5.学習の過程で発見した課題を探求する		20
	3.論理的・批判的なものの見方を養う	30	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		20
授業概要	英字新聞、学術雑誌、英語教材などを使用して、世界の文化・慣習・思想について学ぶ。それをふまえて、受講生がテーマを選び、ある文化・慣習・思想に関する発表を行う。				
授業の狙い・到達目標	異文化や価値観の違いなどについて理解を深め、英語を使って自らの考えを相手に伝えることができるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	簡易な英語で書かれた文章を読めることが望ましい。				
授業外学習(予習・復習)	授業のみならず、積極的に予習・復習することが語学力の向上に不可欠である。各自ノートを用意し、授業で使用する資料の語彙を調べたり、授業後に内容についてまとめたりする必要がある。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間
使用教科書	Natsuki Matsui, Yasuhiro Iida, Naoko Kaneda, Ken Wing Poon. <i>Guess What?!-Intercultural Surprises</i> . Nan'Un-Do 2020.				
参考書・その他教材	各自、毎回の授業に必ず辞書を持参すること。英英辞典が望ましい。				
課題に対するフィードバック	テーマごとに出す課題に対しては、翌週の授業でコメントやアドバイスをする。				
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、プレゼンテーション(50%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	語彙や表現などを主体的に調べ書き留めるノートを準備すること。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける。				

1 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	イントロダクション—授業の目的、内容、進め方について説明する。 シラバスを読み、授業の内容についておおまかに理解しておくこと。 授業の趣旨を理解し、今後の取り組みについてイメージをもっておくこと。
2 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える①ニジェールについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
3 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
4 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の挨拶・おしゃべりの文化について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
5 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える④発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめてくる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
6 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	スウェーデンの事例から、飲食文化について考える①スウェーデンについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
7 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	スウェーデンの事例から、飲食文化について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	スウェーデンの事例から、飲食文化について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国の少数民族や多文化共生の事例について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
9 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	タイの事例から、世界の香りの文化について考える①タイについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
10 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	タイの事例から、世界の香りの文化について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
11 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	タイの事例から、世界の香りの文化について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の香りの文化について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
12 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	タイの事例から、世界の香りの文化について考える④発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめてくる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
13 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	韓国の事例から、受け継がれる食文化について考える①韓国について学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
14 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	韓国の事例から、受け継がれる食文化について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
15 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	韓国の事例から、受け継がれる食文化について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の食文化の継承について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめて、レポートを提出すること。